

BEA Systems, Inc.

通信事業者の要求レベルを満たした統合プラットフォーム 「BEA WebLogic Communications Platform」

世界中で15,000社を超える企業ユーザーにエンタープライズ・ソフトウェア基盤を提供している米国BEA Systems, Inc. (以下、BEAシステムズ) 同社は、コード名「Project Da Vinci (プロジェクト・ダビンチ)」のもと開発を進めてきた通信業界向けの新製品「BEA WebLogic Communications Platform」を発表した。ここでは、BEAシステムズのワールドマーケティング ディレクターであるクリス・キング氏に通信業界に向けた取組みと、BEA WebLogic Communication Platform の概要についてお聞きした。



BEA Systems, Inc.
ワールドテレコムマーケティング
ディレクター
クリス・キング氏

現在、世界各国の通信事業者が抱えている課題とは、何でしょうか。

クリス・キング氏 (以下、CK)

ITと通信との境界が失われつつある今日、通信事業者の最大の課題は、ITと通信を統合し、顧客を確保しながら、収益の拡大につながる新たなサービスを迅速に提供することです。また、多くの収益を上げながらマーケットシェアを獲得するためには、既存のネットワーク基盤を最適化して、より効率よく利用できる方法と技術が必要です。ここで言う方法と技術とは、マーケットシェアの拡大や新規売上げ、より高い利益によって収益を確保し、ARPU (1加入者あたりの平均利用額) の拡大を実現するものでなくてはなりません。

このような課題に対して、BEAシステムズでは、どのような取組みを進めていますか。

CK 当社では、ITと通信の統合を図るために、ネットワークとITの融合が可能な標準ベースのコンピューティング・テクノロジーとプラットフォームに移行しようとしている通信事業者のさまざまな課題に対応できる製品を提供し、通信ソフト業界をリードしてきました。当社の初の通信業界向け製品である「BEA Tuxedo」、およびそれに続く第2弾の「BEA WebLogic Server」は、現在、多くの通信事業者における業務および課金システムの基盤になっています。また大手通信事業者は、高機能なサービスを短期間で効率よく提供するサービス・デリバリー・プ

ラットフォーム (SDP) として、「BEA WebLogic Server Delivery Solution」を配備しています。

SDPの導入により、どのようなことが可能になるのでしょうか。

CK 通信事業者のネットワーク基盤とクライアントサーバベースのSDPは、音声/データネットワークのリソースから構成されているため、ビジネスにおける主要な差別化要因になりつつあります。また、実績があり確立された標準やプログラミングモデルによって、複雑な通信ネットワークを単純化して、サービスを迅速かつ容易に構築する上で必要なアクセスやツールをIT開発者に提供します。これにより、通信事業者は、ネットワーク資産を自社内

のアプリケーション、外部のコンテンツプロバイダー、または開発者から提供される他のサービスとの統合を実現し、音声/データ/ビデオ、リアルタイム・マルチメディア、インタラクティブ・サービスといったサービスの構築、提供管理が可能となります。このような製品および取組みにより、迅速かつコスト効率よくサービスを開発・提供する環境を構築することで、通信事業者や各種サービスプロバイダーの利益率の向上が実現されます。

先日、通信業界向けのインフラストラクチャ・ソフトウェアの新製品「BEA WebLogic Communications Platform」を発表しましたが、同製品の概要をお話ししてください。

CK 本製品は、当社がこれまで世界の主要通信事業者提供してきた経験をもとに開発した、世界初のITと通信の統合プラットフォームです。通信事業者の要求レベルを満たした環境でフルサービス・ライフサイクルをサポートできる能力を持っています。通信事業者が、これまでの独自仕様のソリューションの代わりに汎用性のあるプラットフォームを使用することで、中核となる通信サービスの提供に必要なコストと労力の削減を実現する、当社の製品とテクノロジーを組み合わせた統合スイートです。

「BEA WebLogic Communications Platform」は、どのような製品で構成

されていますか。

CK 現在（2005年4月末）「BEA WebLogic SIP Server」と「BEA WebLogic Network Gatekeeper」で構成されています。

BEA WebLogic SIP Serverは、SIP環境で次世代通信サービスの構築と展開を目指した標準ベースのJ2EEアプリケーションサーバです。世界の通信事業者に認知されているBEA WebLogic ServerとBEA Tuxedoのテクノロジー基盤上に構築された本製品は、通信事業者が標準ベースのコンピューティング・テクノロジーで自社のネットワークを拡張できるように設計されています。このBEA WebLogic SIP Serverを使用することで、VoIP、固定およびワイヤレス電話の統合サービス、リアルタイムの双方向サービス、会議用アプリケーションなどの新しい集約された音声およびデータサービスを、さまざまなネットワーク上で提供できるようになります。

一方、BEA WebLogic Network Gatekeeperは、サーバベースのサービス制御を実現する製品で、ネットワークセキュリティとSLA（サービス・レベル・アグリーメント）の管理機能を提供します。このBEA WebLogic Network Gatekeeperを使用することで、パートナーアクセス、ネットワークスロットリング、加入者プライバシー、タイプ別課金モデルなどをフルコントロールできるようになります。また、コ

ンテンツ課金やモバイル端末位置情報、SMSおよびMMSメッセージ・デリバリーなどの主要なネットワーク機能用のポリシーの定義と執行のためのシングルポイントとして使用することもできます。

通信業界に向けた、今後の展開についてお話しください。

CK 通信業界向けの事業展開において、パートナー企業が果たす役割は大変重要です。当社のパートナー企業は、信頼できる業界専門知識やグローバル市場でのリーダーシップ、そして、当社のテクノロジーを補完する重要なハードウェア、ソフトウェア、サービスを提供していません。

また、新たな技術の導入と製品開発についても積極的に行っています。本年1月に、通信事業者のネットワーク向けポリシー管理とユニバーサル・コネクティビティ分野に強いスウェーデンのIncomit社を買収しました。Incomit社の革新的な技術と製品、そして技術者は、当社の通信業界向け製品やサービス開発を強力にバックアップしてくれると思います。

日本BEAシステムズ株式会社

〒105-0001

東京都港区虎ノ門2丁目10番1号

新日鉱ビル 東棟14階

TEL : 03-5545-8440

FAX : 03-5545-8401

URL : <http://www.beasys.co.jp/>